



日光山名所素心記





日光山名所案内記

柳下野園如賀郡日光山ハ神護系元皇孫崇徳
乃上人乃開基なり其後弘法大師慈覺大師也山として
崇社と云くは建立あり又元和のは慈昭大師守真
乃開山あり

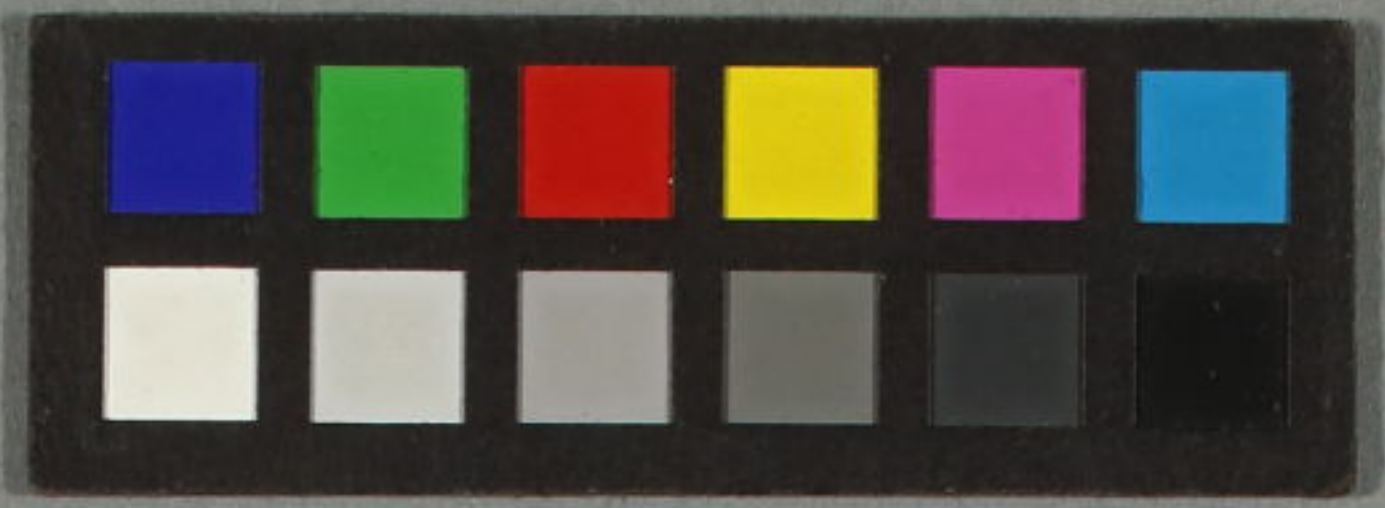
○日光山入口町すゞハ松系町石巻町沖津町神石町
とをこけ所下馬と云うなり此處と星の末御りくは
るる月乃の社の社あり并よ下系石あり○神指
らんかんぎぼうと云いけきと朱ぬりありふみ一六
山麓乃神指といふ不浄の者と候と云ふがくはくは
飯指ありて性来すうありけ流成大谷川といふ橋成
りこり右のころ乃坂を東山仏岩坊舎にゆぐたなり
西へ海乃の並坂を松平右衛門右衛門を同く碑を
川番所りりり○深砂大石乃中一法を云うり云坂と云

右のくまにやるハ○津路ありき坂らと申ゆなり
津去院とて言内よ安達有九郎盛と云はる塔あり
町表通つた方の田園と津殿地右ハ津幸坊也○右乃
津寺ありきハ黒田筑前守殿のきまなり津頼ハ津
殿等ありたのくま○又重隆酒井さぬきのち後山家
をさうり右の方津飯殿けふは内のみあり○仁王
津門ありんれに重なり裏乃方く柳子あり出門
浅てた末の石燈籠網とくろくハ徳大寺名存も能
○津路ニテお裏乃くま○津厨方たのま○津麻○津
神本松○お裏乃○津よ水を柱分げ右津よ水は石
神と鴛鴦信法守殿お進なり○唐網ハ津寺居
たのくまに橋ありあり人ぎ浅のかりてた末は鐘
橋鼓橋○お難より款するはり金幡巻○紅毛より
款とくまの金幡巻○まゝお難よりとる撞鐘あり

琉球より然との十六段の燭巻あり西の方の御本
地堂薬師如来ありの湯の御門こゝろぬはあはてゝこゝろ
成ぬぎて詣む
表と随身裏ハ風雷乃二神あり御願ハ後陽成院の
御震納あり勅額門ととよた乃方〇神樂堂右乃
〇神樂堂〇儀摩堂〇御唐門のち〜ハとよ就
下里就ありととてゆりとの結構なる事言古り
述うと左太と御之御けき〇御お殿前よとよふに三つ
をあり世所より事係するありの御本社 東照
大権現宮あり相殿ハ摩多神山王持記なり地
御之のまじり成る事今御珠お成りりむめ
おと御ふと述う〜ありとと御之り下物
て仁王御門前た乃道と大樂院を御之の別所也
右の〜と新文(ゆ)きたり右乃よと相傳堂
〇新文の御名居御願ハ一お親王乃御等あり〇三

佛堂當山一乃大からんなりはわりの一町母ど下と
て○常約堂は西堂九間乃及汝二町やどとアとし○
慈願大所堂○當山所座まはえ様所廟ありぬりに
所別商を院末社多しは所汝下向してはも雲
乃あふ出てたのくこハ○大融院様所是を熱ら所
堂の花更なる事 東照まよかりる事すほしこの所
堂一と法人系法とあるれど小乃芳就光院は所
別商よりまより坂汝とつて○新ま大拾現日光振
奉此社なり凡國中の大社なりし一社室ありあり
末社多しこれ汝略と所あ當末寺の院常約堂は東
乃くこにあり新まらと汝尾乃及よ出て坂汝は所
目汝末所坂乃とすりに役の所者堂は所よ店室
ありて衆信の人休息を坂と下りて箱邊指あり
是より大小使禁制なり○山王社○不動堂は向

とうりやん谷といふ所あり石がんぎ成のがりてはあ
ふけ所は日光責は道具うとてあり。石乃を居。○
横門表と仁皇表ハ風雷乃二社づくハ弘法大師の
筆あり。○清ね殿。○清率社。○尾大権殿。○
ふく憲くいこれあり。○三本杖率社。○
日光三社の社あり。○当社乃末社多し。○
もとらと下向。○飯盛杖。○横清門。○清社。○
石をさしたのり。○高き山。○外山。○やん太。○天社
あり。○仏岩坊舎乃。○流成通。○とて。○な。○乃。○境。○
石橋あり。○日本就寺。○二重の塔。○清本社。○大権
現と稱す。○清社。○ふく。○河。○り。○清社。○
長久馬矢乃。○出守社。○り。○日光三社。○
多。○大。○の。○事。○中。○く。○拙。○き。○筆。○
記。○に。○あ。○る。○す。○末。○社。○多。○し。○石。○
流。○成。○は。○悉。○く。○あ。○り。○略。○

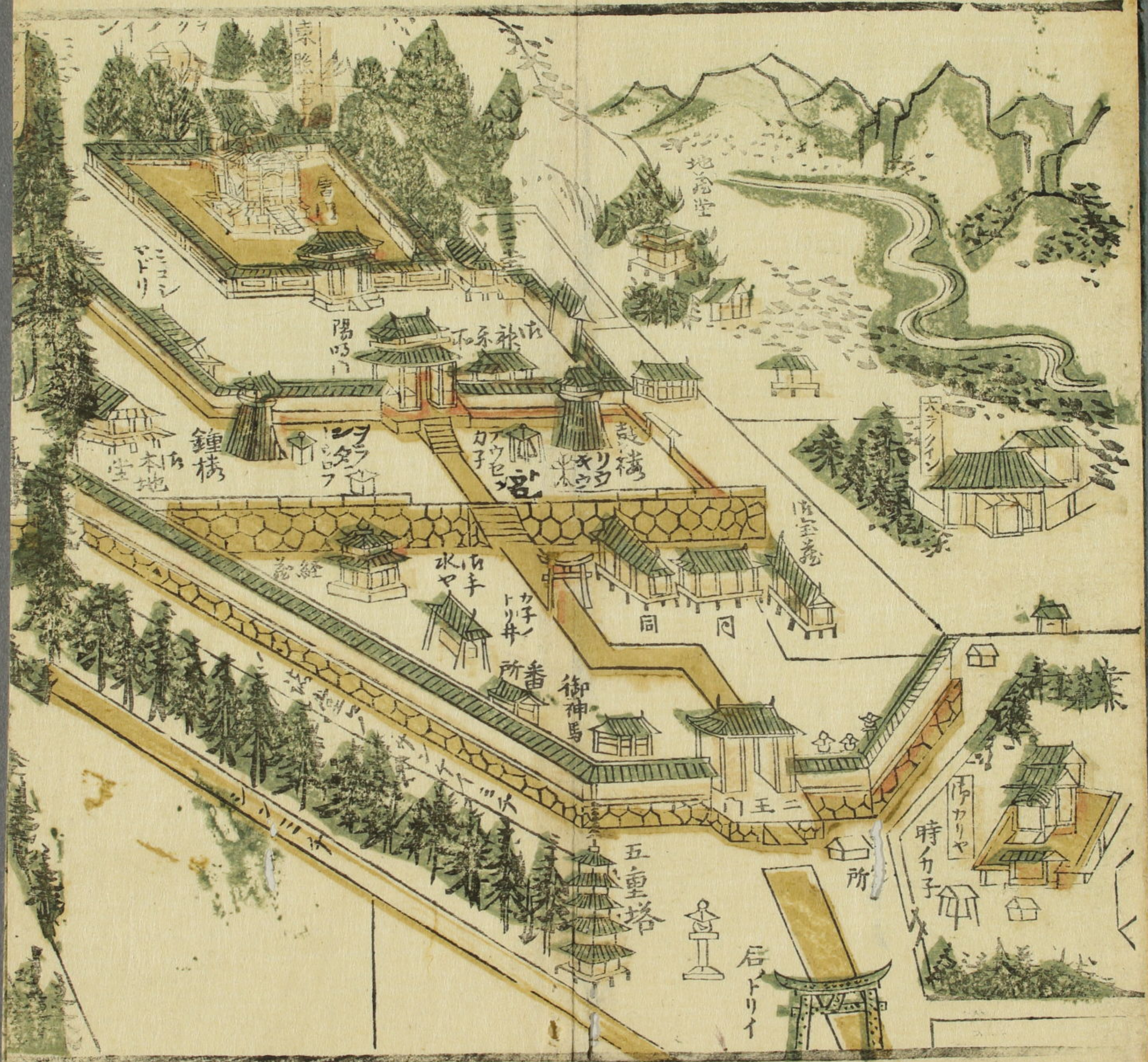


右一目の...
左一目の...



此にありて...
名跡...
...あり







赤ツケ堂
社

金剛堂

三番神

天王門

赤ツケ堂

常行堂

三ツツ堂

大ニウ院様シ玉マ



右一日のとうりついで糸清成るなりけ介又加念ん
が園園東北高野山といふ其地なり○宗光寺此所より
行念仏札出る○大日堂○裏つたが所裏よりあがひる
日本一乃名所あり○中禅寺あふ補陀落山中禅寺
と号を湖水あり湖乃長さ三里を二里計所の長
ごと唐大和乃京地成むらよきとをい風景似を由
ち給ふとごう夏乃間をゆく岸く糸清成

おるあり浄土社中禅寺大持現日光三社の浄土社
なり末社あまこま社室あく○五末社親善堂坂東
乃れありり當社乃偶も多し一處くハ名跡徳了在
あふのお成通ア三里先口約と温泉ありをく名湯
あり夏乃る入湯人あまこま物事自由ありけを
急れ山く嶽く男禪山成りめ名山湖水古跡教道
○日光山名物あくあり○一山法道段人附○日光より

徳方(道法)村惣て高山乃妻と事ハ名政徳の紀あり
略之日光山而く系譜するに之曰目と区画と也
右一巻と名政徳乃用しりありておの成多しひ
出—高山(森)訪の軍寸志乃案内とありん
妻くハ名政徳ふし知る也兼人ハ儀とぞ弘のんが
るく此如く略記せらるもの也

日光浄車町

室曆曰甲戌年二月

板本 菅沼治弟丸忠



家應早

未

三月

春

上海